

無線 LAN 対応ケーブルモデム
CBW38G4J 設定確認マニュアル





<目次>

1	安全にお使いいただくには.....	3
2	各部の説明.....	3
2.1	背面パネルの説明.....	4
2.2	前面パネルの説明.....	4
2.3	ランプ表示と状態.....	5
3	機器の各種設定について.....	6
3.1	ログイン方法.....	6
3.2	モデム情報.....	7
3.3	無線設定.....	8

1 安全にお使いいただくには

本製品を安全にお使いいただくには、下記の安全上の注意を必ずお読みいただき、ご使用下さい。

	警告	取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または負傷する可能性が想定される場合。
	注意	取り扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険が想定される場合、及び物的損傷の発生が想定される場合。



警告

- ・ 電源は AC100V(50Hz/60Hz)を使用してください。
電源は電源コンセントから直接取り、タコ足配線は避けてください。
火災・感電の原因になります。
- ・ 本機に水が入ったり、本機がぬれたりしないようご注意ください。
本機の上に薬品や水などの入った容器を置かないでください。
- ・ ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因になります。
- ・ AC アダプタは、必ず付属の製品を使用してください。
- ・ 電源コードを傷つけたり、無理な力を加えたりしないでください。
電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
- ・ 本機を分解しないでください。内部に調整箇所はありません。
お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。
点検・修理は販売店にご依頼ください。
- ・ 煙が出ている、異臭がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。
異常に気付いた場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、ご加入のケーブルテレビ事業者またはサービス会社に修理をご依頼ください。
- ・ 異物が本機の内部に入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、ご加入のケーブルテレビ事業者またはサービス会社に修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

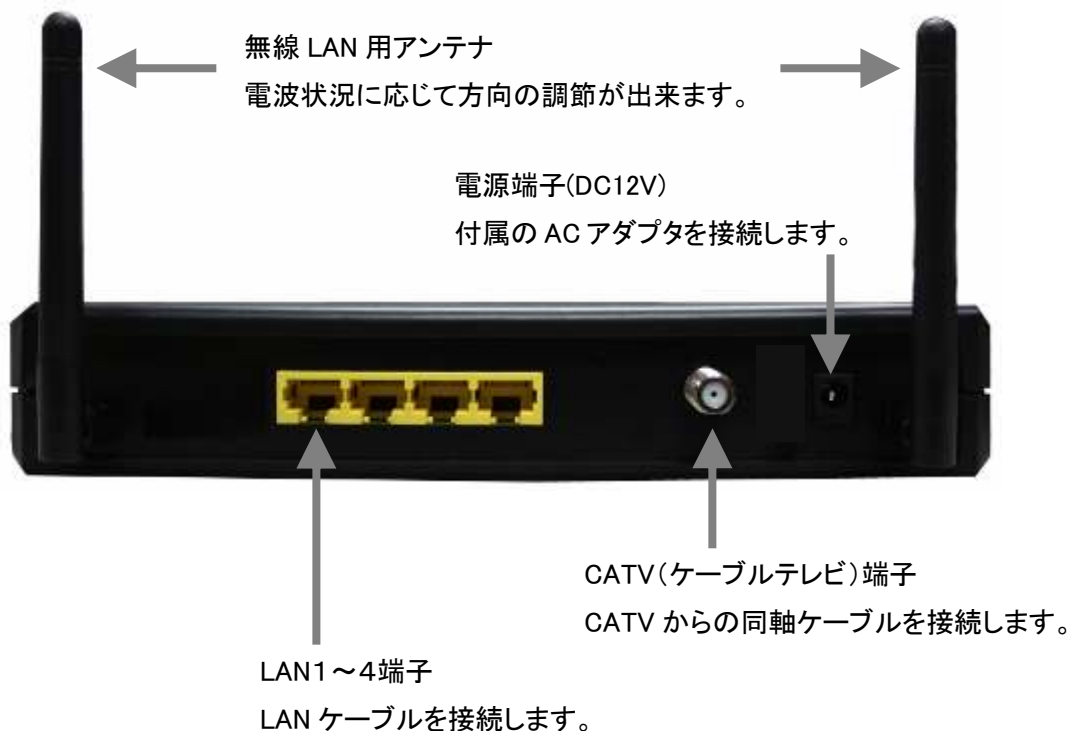


注意

- ・ 極端な高温や低温の場所での使用や保存は避けてください。故障の原因になります。使用温度範囲は 0～40℃です。
- ・ ぐらついた台の上や、傾いた所など不安定な場所に置かないでください。
落下してけがの原因になります。
- ・ 衝撃や連続的な振動の加わる場所には設置しないでください。故障の原因になります。
- ・ 本機の上にものを載せないでください。
- ・ 直射日光の当たる場所や暖房器具などの熱器具の近くには設置しないでください。また、湿度の高い場所やほこりの多い場所は避けてください。
- ・ 本機の通気孔をふさいだり、他の機器と積み重ねて使用しないでください。
内部の温度が上がり、故障の原因になります。
- ・ 長期間ご使用にならない場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。

2. 各部の説明

2.1 背面パネルの説明



2.2 前面パネルの説明



2.3 ランプ表示と状態

LED 表記	色	パターンの内容
POWER	緑	通電時に点灯
DS	緑	下りチャンネル設定時点滅
	緑	非ボンディング動作時点灯
	青	ボンディング動作時点灯
US	緑	上りチャンネル設定時点滅
	緑	非ボンディング動作時点灯
	青	ボンディング動作時点灯
ONLINE	緑	正常動作時に点灯
LAN1-4	橙	10/100Base 時に点灯[通信時は点滅]
	緑	1000Base 時に点灯[通信時は点滅]
WIFI	緑	無線 LAN 動作時に点灯[通信時は点滅]
WPS	橙	WPS 設定時に点灯[セキュリティ設定時には点滅]

◇正常なランプ状態

POWER	緑・点灯
DS	青・点灯
US	緑・点灯
ONLINE	緑・点灯
LAN(1~4)	緑または橙・点灯※
WIFI	緑・点灯または点滅
WPS	橙・点灯または点滅

※橙の場合、速度が十分に出ない可能性がございます。

→接続した機器や PC の LAN デバイス、LAN ケーブルなどが
100Base 対応のものである可能性がございます。

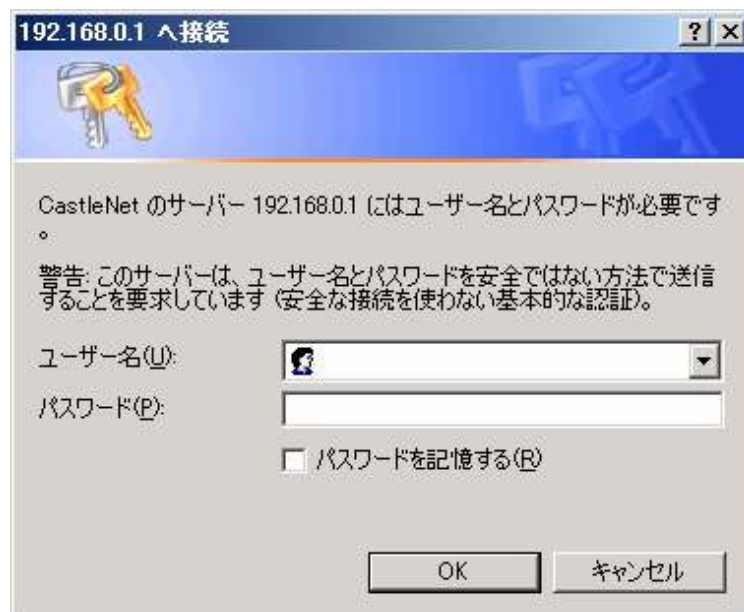
3. 機器の各種設定について

本機器はパソコンと LAN ケーブルにて接続し、WEB ブラウザから設定することで、機器の状態の確認や、各種の設定を行うことができます。

3.1 ログイン方法

※ログイン方法

1. 本機器が正常に動作していることを確認し、パソコンを LAN ケーブルにて接続されている状態で、WEB ブラウザを起動させます。
2. WEB ブラウザのアドレス入力欄に <http://192.168.0.1> を入力し、移動します。
3. 下記のような、ユーザー名とパスワードの入力を求める画面が表示されます。必要な権限でのユーザー名とパスワードを入力します。

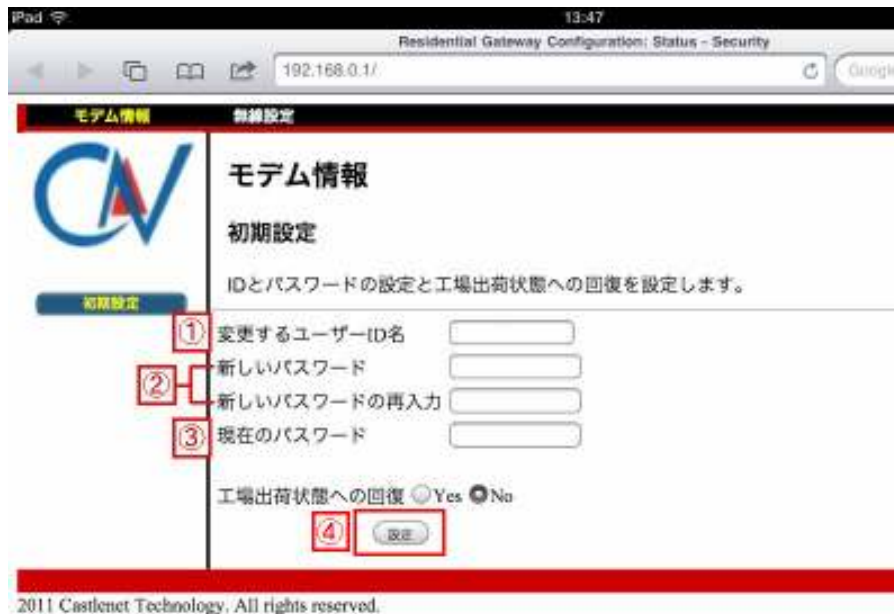


	出荷時設定	変更時のメモ
ユーザー名	user	
パスワード	user	

3.2 モデム情報

3.2.1 初期設定(モデムへのログインパスワードの変更)

画面上部【モデム情報】→画面左部【初期設定】をクリックで表示される



モデムへのログインパスワードを変更する場合に使用します。

◇パスワードの変更方法

1. 「①変更するユーザ ID 名」に、利用するユーザー名を入力します。
2. 「②新しいパスワード」「新しいパスワードの再入力」のそれぞれに設定したい新しいパスワードを入力します。
※パスワードは16桁までの英数字が設定できます。空欄でも設定できてしまいますので注意！
3. 「③現在のパスワード」に、変更前のパスワードを入力します。
4. 画面下の【設定】ボタンをクリックします。
5. 再度ログインの画面が出ます。ユーザー名と**新しいパスワード**を入力し【OK】をクリックします。



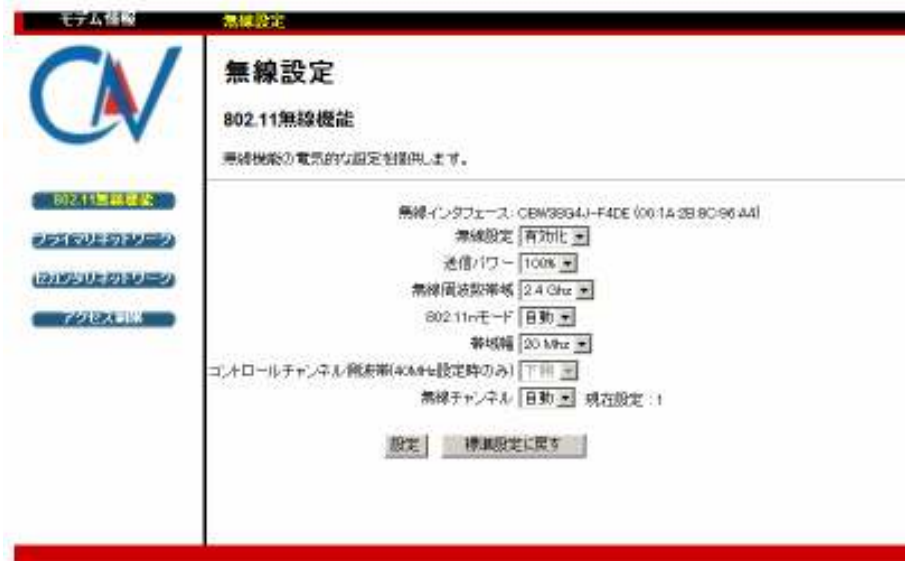
変更後の新しいパスワードを入力してください！！

6. 最初の「初期設定」画面に戻り、変更完了となります。

3.3 無線設定

3.3.1 802.11 無線機能

画面上部【無線設定】→画面左部【802.11 無線機能】をクリック



無線に関する、設定の確認・変更が可能です。通常は、変更の必要はありません。

※設定を変更する場合は、各設定を選択した後【設定】ボタンをクリックします。

設定を元に戻したい場合は、そのまま【標準設定に戻す】をクリックします。

- ・無線設定（初期値：有効化）

基本的に「**有効化**」のままにします。

万が一、無線 LAN を使用しない場合は「無効化」を選択します。

- ・送信パワー（初期値：100%）

本機器の無線送信パワーを調整します。基本、変更の必要はありません。

- ・無線周波数帯域（初期値：2.4GHz）

本機器は 802.11b/g/n 対応なので、2.4GHz 専用であり変更は出来ません。

- ・802.11n モード（初期値：自動）

802.11n 対応端末を利用する場合に設定します。基本は「**自動**」のままとしてください。

- ・帯域幅（初期値：20MHz）

本来は、数字が大きいほど、利用する帯域が広がり、速度が出やすくなる性質があります。

ただし、現在は、他の機器の無線通信と干渉しやすくなり、逆に速度が遅くなる可能性が高い為、基本は「20MHz」のほうが安定して速度が出ると考えられます。

- ・コントロールチャンネル側波帯(40MHz 設定時のみ)

帯域幅 40MHz 設定時に、上側か下側のどちらにチャンネルを配置するかを選択できます。

他に無線 LAN 機器がある場合、お互いの干渉を避けるために調整することが出来ます。

- ・無線チャンネル（初期値：自動）

通信する無線チャンネルを変更することが出来ます。基本は「自動」で問題ありません。

通常、設定を変更する必要はありませんが、他機器で接続する際に入力する「SSID」「セキュリティキー」を変更したい場合は、この画面で変更可能です。

・SSID、セキュリティキーの変更方法

上記「ネットワーク名 (SSID)」、「WPA 暗号化キー」を変更して入力した後、画面中部あたりの「パスフレーズ」のすぐ下にある【設定】ボタンをクリックします。クリックした後、同じ画面のまま更新されますので、それで変更完了となります。

※「ネットワーク名 (SSID)」は 32 文字以内の英数字、

「WPA 暗号化キー」は 26 文字ちょうどにて、0~9 または a~f の英数字となります。

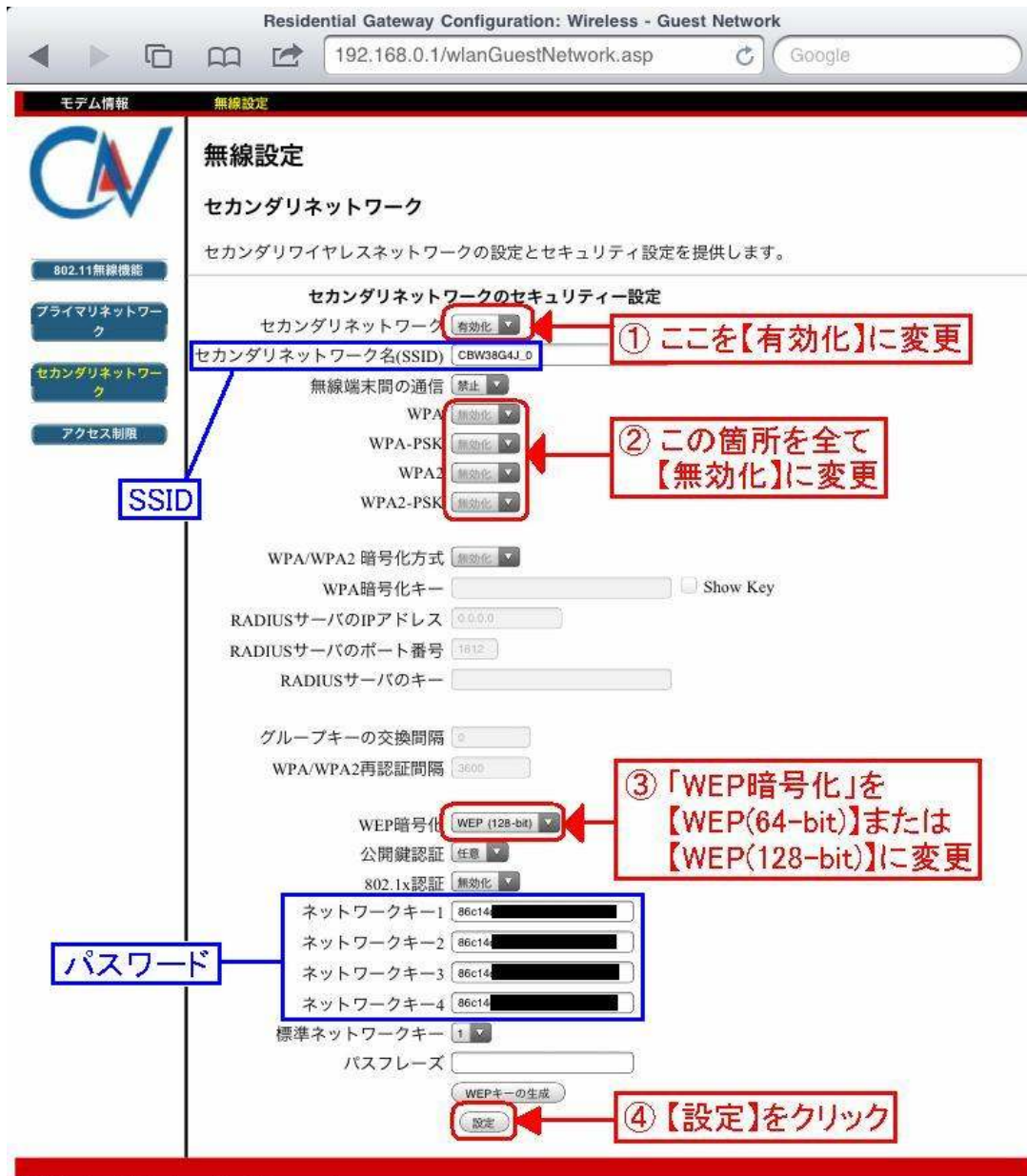
※「ネットワーク名 (SSID)」、「WPA 暗号化キー」の初期値については、モデム裏面に、

MAC アドレスと一緒に記載されております。上記の方法で「ネットワーク名 (SSID)」、「WPA 暗号化キー」を変更すると、上記の設定画面以外では SSID・セキュリティキーが確認できなくなりますので、ご注意下さい。



3.3.3 セカンダリネットワーク(DS、DSLite 用のセキュリティキーの設定)

画面上部【無線設定】→画面左部【セカンダリネットワーク】をクリック



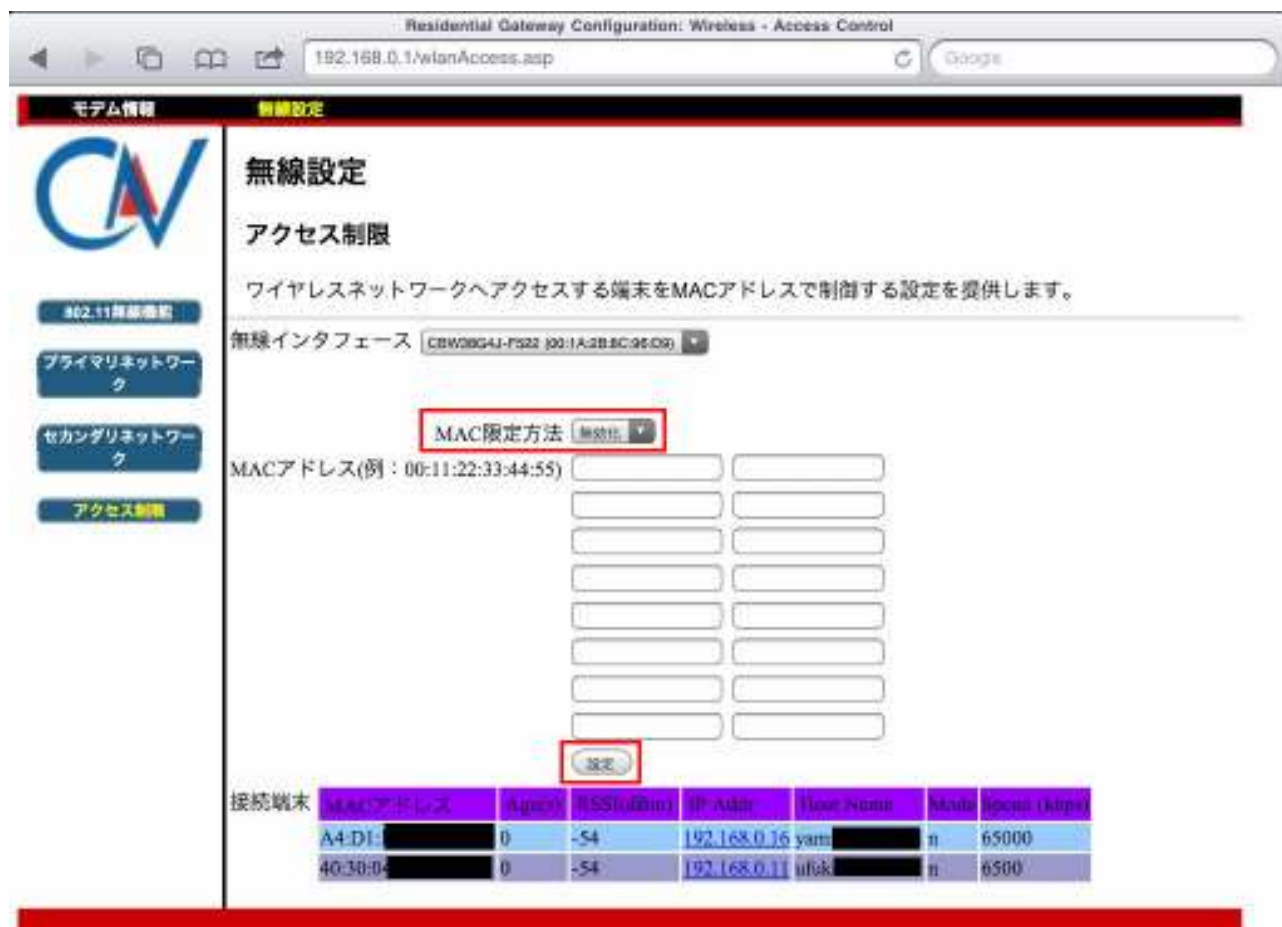
DS・DSLite を接続する場合、セキュリティが「WEP」しか対応できない為、「セカンダリネットワーク」にて WEP キーが利用できるよう、設定する必要があります。

- ① 「セカンダリネットワーク」を【有効化】に変更する
- ② 「WPA」「WPA-PSK」「WPA2」「WPA2-PSK」を全て【無効化】に変更する
- ③ ②が終わると「WEP 暗号化」が変更可能になるので、ここを【WEP(64-bit)】または【WEP(128-bit)】に変更する
- ④ 「ネットワークキー」が自動に入力されるので、「SSID」と「ネットワークキー」をわかりやすい書面などにメモします。【設定】をクリックして完了です

設定が完了したら、DS・DSLite にて接続設定が可能となります。

3.3.4 アクセス制限(アクセスブロックなど)

画面上部【無線設定】→画面左部【アクセス制限】をクリック



ここでは、MAC アドレスを指定して、アクセス拒否などの制限設定が可能です。

「MAC 限定方法」を変更して、「MAC アドレス」を入力後、【設定】をクリックすると設定できます。

◇MAC 限定方法について

- ・無効化 「MAC アドレス」リストに登録された機器を無視します。
→画面下部の「接続端末」リストに登録されません。
- ・許可 「MAC アドレス」リストに登録された機器 **だけを接続可能**にします。
→ **ここに登録されていない全ての機器**が接続できなくなります。
- ・拒否 「MAC アドレス」リストに登録した機器の通信を拒否します。

◇MAC アドレスについて

MAC アドレスは【 ●●:○○:▲▲:… 】と2文字ごとで【:】(コロン)で区切ってください。